

平成29年度学校教育自己診断について

○平成29年度における質問項目の選定

前回との比較を通して本校の状況の傾向・問題点（課題）を発見しやすくするために、前年と概ね同じ診断項目で実施した。

○平成29年度実施結果について

(1) 集計結果（保護者・生徒・教職員）※別紙のとおり

(2) 保護者アンケートについて

アンケート総数は664名（全体の66.5%） ※前年度651名（65.5%）

アンケートは

(A) 良く当てはまる

(B) やや当てはまる

(C) あまり当てはまらない

(D) まったく当てはまらない

(E) わからない

とした。

【概要】

- ・ 質問44項目中、21項目でA・B評価の割合が増加、21項目で減少しており（2項目は増減なし）、全体としては前年度とあまり変わらない評価をいただいている。
- ・ 生徒の学校生活への満足度に関する質問については、概ね高い肯定率となっており、生徒が学校に楽しく通学している状況がわかる。

① アンケート結果の分析について

ア. 全回答の中でA・Bの割合の増加傾向が顕著なもの（10%以上増）

22 枚方高校では「チャイム即授業」が行われていると子どもから聞いている。

イ. 全回答の中でA・Bの割合の減少傾向が顕著なもの（5%以上減）

30 枚方高校の取り組みについては、子どもからよく聞いている。

ウ. 評価が特に高いもの（肯定率が90%以上）

3 子どもは、学校に友達がいると言っている。

9 先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導している。

10 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

11 枚方高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。

12 枚方高校は、雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている。

16 枚方高校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。

22 枚方高校は、子どもに声明を大切にすする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。

32 文化祭や体育祭・宿泊行事などの学校行事には、子どもは積極的に参加している。

40 枚方高校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。

42 枚方高校では、子どもに関する個人情報を守られている。

エ. 評価が特に低いもの（肯定率50%未満）
（なし）

② 保護者アンケート筆答部分の回答について（107件 前年比6件増）

ア. 学校の様子について

・生徒が生き生きしているという印象を受ける、という意見を数件いただいている。

イ. 授業、教員について

・授業の内容の充実について、多くの要望をいただいた。

・教員について、教え方や質問への対応など、いろいろなご要望をいただいた。

ウ. 生徒指導等について

・クラブ活動については、熱心な指導への評価がある一方で活動日、活動時間が長すぎではないか、という声もいただいた。

・学習活動と部活動の両立が難しいという声を何件かうかがった。

エ. 学校の施設等について

・教室のエアコンの温度管理について、多くのご意見をいただいている。

オ. 進路指導について

・早期から進路指導をしてほしいというご意見をいただいた。

・部活動に参加している生徒が講習・英検受験など参加しやすくしてほしいというご要望をいただいている。

カ. 情報発信について

・ホームページ、メールマガジンなど評価するというご意見をいただいた一方、より一層の充実を求める声もあった。

(3) 生徒アンケートについて

回答者総数は967名・在籍者の97%（前年度97%）

評価は

(A) 良く当てはまる

(B) やや当てはまる

(C) あまり当てはまらない

(D) まったく当てはまらない

(E) わからない

とした。

【概要】

- ・ 全項目の肯定率の平均は70.3%。(昨年は71.3%)
53項目中、21項目で肯定率の割合が増加。30項目で減少。2項目は増減なし。
- ・ 学校生活への満足度や進路指導に関する質問については、昨年度よりはわずかに下がったが概ね高い肯定率となっており、学校生活を意欲的に送っている生徒が多いと思われる。
- ・ 授業に関する項目は肯定率が総じて高く、授業改善に向けた取組みが一定評価されていると思われる。
- ・ いじめへの対応や教員への信頼感に関する各項目については、肯定率は高い数値ではあるが100%ではない。
- ・ 地域や他校との交流については、依然として評価が低く、いっそうの取組みの推進が必要である。
- ・ 家庭学習に対する意識が依然として高くなく、より適切に指導・支援していくことが必要である。

① アンケート結果の分析について

ア. 肯定率の増加傾向が顕著なもの(10%以上増)

24 授業では自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。

イ. 肯定率の減少傾向が顕著なもの(5%以上減)

3 校内の清掃は行き届いている。

11 文化祭・体育祭・修学旅行は、意義深いものになるよう工夫されている。

17 枚高は国際交流の取り組みがさかんである。

41 土曜日や早朝、放課後の講習は充実している。

51 アトムテストは、数学の理解に役立っている。

ウ. 評価が特に高いもの(肯定率が90%以上) 1項目(昨年度 2項目)

14 将来の進路や生き方について、考える機会がある。

エ. 評価が特に低いもの(肯定率が50%未満) 2項目(昨年度 2項目)

23 授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がよくある。

40 部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や幼稚園・保育園など地域の人々と交流する機会がある。

(4) 教職員アンケートについて

回答者総数は33名・全教員の58%(前年度60%)

評価は昨年度と同様に

(A) 良く当てはまる

(B) やや当てはまる

(C) あまり当てはまらない

(D) まったく当てはまらない

の4段階とした。

【概要】項目は一昨年と同じとした。(79項目)

- ・ 肯定率の平均は73.0% (前年度は74.2%)
- ・ 授業改善や指導方法の工夫に関する項目の肯定率は前年よりは下がったが、肯定率は引き続き高い評価となっている。
- ・ 学校経営や教育活動に関する諸課題について、校長・教職員全体で一定以上の意識共有ができていると思われる。
- ・ 人権課題への取り組みや、読書指導・図書館活用についての評価が低いなど、改善しなければならない課題もある。

① アンケート結果について

ア. 肯定率の高いもの (90%以上)

- 12 この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。
- 23 この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができている。
- 64 コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。
- 67 初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。
- 68 学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。
- 74 指導要録の記入、点検が適正に行われている。

イ. 肯定率の低いもの (50%未満)

- 33 学校として、読書指導に積極的に取り組んでいる。
- 36 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。

ウ. 肯定率が大きく上昇した項目 (10パーセント以上)

- 12 この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。
- 49 教職員の適性・能力に応じて校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。

エ. 肯定率が下降した項目 (10パーセント以上)

- 63 この学校では、図書館が生徒に活用されている。
- 73 学校から保護者あてに公文書を発行するにあたって、校長が決裁するシステムが生かされている。